

リノシスココーポレーション 若い世代へスピリット継承

設立30周年記念式典を開催

リノシスココーポレーション(大櫃良之社長)は9月2日、大阪市内のホテルで設立30周年記念式典「愛と勇氣と笑顔と未来」を開いた。関係者ら約150人が参加した。

「メンテナンス・リニューアルに設計事務所が関わるビジネスモデルがない時代で、戸惑いながら数少ない仕事を請け負っていた」と設立当初を思い返しながら、マンション管理組合からの引き合いをきっかけにマンション改修分野に本格進出し、「提供した技術がエンドユーザーに届き感謝されることに大きなやりがいを感じる」と語った。

大櫃社長は「写真」は「メンテナンス・リニューアルに設計事務所が関わるビジネスモデルがない時代で、戸惑いながら数少ない仕事を請け負っていた」と設立当初を思い返しながら、マンション管理組合からの引き合いをきっかけにマンション改修分野に本格進出し、「提供した技術がエンドユーザーに届き感謝されることに大きなやりがいを感じる」と語った。



番。エリアや事業を拡大しながら「これまでやること」ができた」と関係者への感謝の気持ちを伝えた。今後については「過去から未来へと視線を移す時期にきている。若い世代へスピリットを受け継いでいきたい」と期待を込めた。

設立30周年に合わせたロゴデザインの社内コンペでは、玉城田佳さんが最優秀プラチナ賞を受賞し、大櫃社長から記念品を受け取った。その後は次世代を担う社員を代表し、玉城さんが「設立50周年を目指し、次のリノシスを見せられるよう精進したい」と未来に向けた

力強い決意を表明した。

小まめなメンテ が長持ちの秘訣

大阪建築防災センター 「秋の防災講演会」

JR西日本の村田一郎構造技術室長が「豪雨・地震に対する備え」、川井正取締役兼常務執行役

大阪建築防災センター(吉田敏昭理事長)は9月2日、建築物防災に関する講演会を大阪市内で開催した。今回は「激甚化する自然災害に対するJR西日本の防災対策」と題し、鉄道の防災・減災の取り組みを学んだ。

このうち、村田室長は、同社の土木構造物の約8割が戦前に建設され、特に在来線に建設年代が古い構造物が多く、豪雨などの被害を受けやすい

建設業振興基金
建設業振
参加費

建設業振興基金
建設業振
参加費

「土構造物」が占めることを紹介して新大阪・大阪の「上淀川橋梁」に120年前に使われている構造物を示し、

▽指名競争・電子入札・音大通り線改良工事(1-3工区)(庄内西町1丁目外)
【9月12日開札】
▽指名競争・電子入札・豊中市上下水道局庁舎耐震補強及び外部プロ

★池田市契約検査課
【9月9日開札】
▽指名競争・里道(伏尾町)外1路線道路改良工事(伏尾町外)
【9月10日開札】
▽指名競争・共同利用施設池田市立井口堂北会

★泉大津市総務課
【9月13日開札】
▽小・中学校防火設備等改修工事(我孫子1)

▽淡路夢舞台国際会議場改修電気・機械設備工事に係る実施設計
▽考古博物館加西分館建築工事に係る実施設計
【9月10日開札】
★芦屋市契約検査課

②623万4千
▽市内一円公益灯新設改良工事(その2)
①1万1117円
▽市内一円公益灯補修工事(その2)
②1万6685円

携帯電話などの電源を整備する場合、作業の一部を補電波遮へい対策32億5000万とする。
高速・大容量光ファイバーを支える光ファイバー